

地域農林経済学会 2014 年度 総会議事録

日時：2014 年 10 月 18 日(土) 17:00-18:10

場所：京都府立大学 稲盛記念会館 1 階 104 講義室

議長：横溝功

1. 会長挨拶

佐藤会長より開会の挨拶がなされた。

2. 議長選出

横溝功氏を議長に選出した。

3. 議事録署名人選出

浅見淳之氏及び宇山満氏を議事録署名人に選出した。

4. 報告事項及び協議事項

(1) 2014 年度 常任理事会・大会実行委員会の開催状況について<報告>

浦出庶務担当理事より、2014 年度常任理事会及び大会実行委員会の開催状況について報告がなされた。

(2) 2013 年度事業報告、会計決算報告(案)ならびに会計監査報告について<審議>

浦出庶務担当理事より 2013 年度事業報告、堀田会計担当理事より 2013 年度会計決算報告(案)、河村監事より会計監査報告がなされた。審議を行った結果、原案通り承認された。

(3) 2014 年度事業中間報告および会計中間報告について<報告>

浦出庶務担当理事より 2014 年度事業中間報告、仙田会計担当理事より 2014 年度会計中間報告がなされた。

(4) 2015 年度事業計画及び予算案について<審議>

浦出庶務担当理事より 2015 年度事業計画、堀田会計担当理事より 2015 年度予算案が提案された。審議の結果、原案通り承認された。

(5) 新入会員及び退会者について<報告>

中塚組織広報担当理事より、新入会員及び退会者について報告がなされた。

(6) 学会費長期滞納者等の会員資格喪失について<審議>

中塚組織広報担当理事より、学会費長期滞納者等の会員資格喪失について、過去 1 年間で 12 件となった旨の説明がなされた。該当者について年内に会費納入の対応がなされない場合は、除籍手続きをとりたい旨の提案がなされ、審議の結果、承認された。

(7) 編集委員会報告<報告>

増田編集担当常任理事より、学会誌の編集状況について報告がなされた。続いて、編集委員会要項、投稿規程、個別報告論文投稿要領の改正内容、及び学会誌論文(一般)及び個別報告論文の新たな審査基準の概要について、報告がなされた。

(8) 学会諸賞の表彰について<報告、表彰>

古塚学会賞選考委員長(増田副会長代読)より学会奨励賞、学会特別賞及び学会誌賞の選考結果と選考理由について報告がなされた。続いて、佐藤会長より、各賞の表彰を行った。各受賞者及び受賞作については以下の通り。

(地域農林経済学会賞)

内田和義 『日本における近代農学の成立と伝統農法 老農船津伝次平の研究』 農文協刊, 2012 年 8 月

(地域農林経済学会誌賞)

推薦なし

(地域農林経済学会特別賞：2名)

池上甲一 『シリーズ 地域の再生 14 農の福祉力 アグロ・メディコ・ポリスの挑戦』農文協刊、2013年7月

小田切徳美 『農山村再生に挑む—理論から実践まで』岩波書店、2013年8月

(9) 個別報告優秀賞の講評と表彰について<報告>

北川企画担当理事より、個別報告優秀賞の選考結果について説明がなされ、本年度について個別報告優秀賞は「該当なし」となった旨の報告がなされた。

(10) 会員制度の変更と諸規程の改正について<審議>

浦出席務担当理事より、会員制度の変更と諸規程の改正について説明がなされた。具体的な変更内容は以下の通り。①会員種別の名誉会員を廃止し、正会員の会員一区分とする(会則の改正)。②シニア会員の資格は65歳以上とし、会費の減額及び一括前払い制度を導入する(会員種別に関する規程細則の改正)。③名誉会員表彰を学会事業に位置付ける(会則変更。ただし推薦については名誉会員推薦内規に従って行う)。審議を行った結果、了承された。

(11) 名誉会員の授与について<審議・表彰>

浦出席務担当理事より、本年度名誉会員として、大原興太郎会員、河村能夫会員、山口三十四会員の3名を推薦したい旨の説明がなされ、審議の結果了承された。続いて、佐藤会長より同3名に表彰を行った。

(12) 学会誌の電子ジャーナル化について<報告>

増田副会長(業務改革担当)より、学会誌の電子ジャーナル化(冊子体の廃止)を実施する旨の報告がなされ、これまでの検討経緯、関連する課題への対応、学会業務委託契約の更新の今後の進め方について説明がなされた。具体的な内容は以下の通り。

<学会誌オンラインジャーナル化について>

- 1) 学会誌は2015年6月号(第51巻第1号)からオンラインジャーナルに移行する。すなわち同号から冊子体の発行を廃止する。
- 2) オンラインジャーナルはXML方式とし、J-Stageにアップロードする。各号の公開時期はこれまでの発行時期を継承する。「会員限定」などによる閲覧制限をしない。
- 3) 冊子体が必要な会員等に対しては、必要に応じてオンデマンド印刷の対応を行う。料金体系は今後決定する。
- 4) (株)昭和堂を通じて行っている学会誌冊子体の書店等での販売は中止する。
- 5) 電子ジャーナル化の実施に伴う会員制度の見直しと規程の改正(賛助会員の区分及び会誌の配布の扱い等)については、次期常任理事会等で検討し、次年度総会時に改定を諮る。

<関連課題への対応>

- 1) 当面、年4回程度のニュースレターを紙媒体で発行して、冊子体廃止による会員との伝達手段の弱さを補い、会員とのコミュニケーションをより充実させる。コンテンツ等については、今後詳細を検討。
- 2) 会員のメールアドレスの的確な把握を行い、電子メールによる連絡体制を強化する。紙媒体のニュースレターも、電子メールへの移行を見込む。
- 3) 学会誌投稿料等は当面据え置く。

<学会業務委託契約の更新について>

- 1) 担当ごとに業務内容と処理手続き確認し、中西印刷(株)との業務委託契約の更新を行う。
- 2) 来年1月の契約更新に間に合うよう業務委託契約更新作業を行う。更新作業は第19期常任理事が担当する。

(13) 第20期理事候補者について<審議>

浦出席務担当理事より、第20期理事候補者リストが提示された。審議の結果、了承された。

(14) 2015年度学会大会の開催地について<報告>

佐藤会長より、2015年度学会大会を鳥取大学で開催する旨の報告がなされた。

(15) その他

1) メールアドレスの登録について

中塚組織広報担当理事より、今後学会誌の電子ジャーナル化に伴い、メールによる広報が主な連絡手段となるため、会員の登録メールアドレスの整備を進めていることが説明され、メールアドレスの未登録会員に対してメールアドレスの登録の依頼がなされた。

2) 学会諸賞の表彰状について

愛媛大学の胡柏会員より、学会諸賞の賞状の書き方について、「受賞作」より「受賞業績」とする方が望ましいとの問題提起がなされた。小田庶務担当理事より、次期の常任理事会に引き継ぎ検討する旨の回答がなされ、了解された。

5. 増田副会長より閉会の挨拶がなされた

以上

上記議事録を承認します。

(承認年月日)

平成
26年 11月 22日

(署名人氏名)

宇山 英



上記議事録を承認します。

(承認年月日)

平成
26年 11月 25日

(署名人氏名)

浅見 淳之

